



Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：田中進一郎
■幹 事：高橋 秀治
■会報委員長：近藤 俊也

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U RL／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第 2 6 9 7 回 例 会 (H 2 9 . 5 . 3 0 火 晴 れ ※)

点 鐘 田中 進一郎会長

R . S 手に手つないで 四つのテスト

ビジター ☆地区青少年奉仕委員長 寺本 善雄様

幹事報告 高橋 秀治幹事

- 1) 会報受信クラブ 瀬戸 瀬戸北
- 2) 下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日 (曜)	場所 (変更理由)
岩 倉	6月6日(火) →6月3～4日	(親睦家族旅行)
各 務 原	6月7日(水)	(親睦旅行)
一 宮	6月8日(木)	(定款 8-1 による休会)
名古屋空港	6月12日(月)	(定款 6-1 による休会)

出席報告 (丹羽敬昇委員長)

出席率 90.57%

会員 56名 出席 48名 欠席 8名

欠席者 稲垣圭次君 河田敏和君 牧野武彦君
松平實胤君 宇佐美芳樹君

前例会の修正(5/23分)

藤井友喜君(5/23eCLUBONE)河田敏和君(5/18 可児 RC)福富孝弘君(5/25eCLUBONE)祖父江寿男君(5/24 可茂 RC)紀藤政司君(5/23eCLUBONE)大海敏道君(5/17 各務原 RC)塚原義成君(5/25 可児 RC)

以上 82.00%を 96.00%に修正

祝 福 (福富孝弘委員長)

おめでとうございます!!

在 籍 30年 奥村 正幸君

ニコボックス (埴田惣一委員長)

本日の投函金額 50,000円



会 長 挨拶 (田中進一郎会長)



皆さん、こんにちは、お客様の紹介をさせていただきます。地区青少年奉仕委員長、名古屋みなと RC 所属、寺本善雄様、ようこそいらっしゃいました。後ほど卓話をいただきます。

よろしくお願いたします。

最近とても暑い日が続いておりますが、朝晩は湿度が低いせい、とてもさわやかで過ごしやすいと思います。

2週間に亘ってお話ししました AI の今日は最終回で、少し IOT というものについて、若い人にお話をしたいと思えます。IOT は Internet of Things、モノとインターネットとの関わり合いということですが、人が介在しなくてもモノが自動でサービスを提供してくれるシステムというのが IOT です。前にも申し上げましたが、2030 年には今ある仕事の 47% はなくなるわけです。でもこの IOT の市場は日本では 2020 年までに 13.8 兆円に拡大するといわれております。この IOT の技術が進んでまいりますと、例えば自分の家の冷蔵庫の中の毎日飲むフレッシュジュースが足らなくなると、冷蔵庫自体が自動で注文してくれて、注文を受けたところが届けてくれる。こういう時代がもう間近に迫っているということです。既にアメリカでは行われており、世界最大の商社アマゾンが、Amazon Dash Button というのをやっております。例えば洗濯機に Amazon Dash Button を付けると、使っている洗剤がなくなると、その洗剤をアマゾンに発注してくれ、しばらく経つと届く。こういう時代が本当にくるのかと思っていると、2030 年にはそういうものに覆われてしまう時代が間近に来ているということです。40 代の若者、50 代前半の若者は、やはり時代を先取りして、頑張っている AI と IOT は自分のものにしていただきたいと思えます。

アディダスのサッカーボールでマイコーチスマートボールというものは、球を蹴るだけで、脚力ほどの程

度で、どう曲がり、どのくらいのスピードで飛んでいくかをスマートフォンに教えてくれます。またバスケットボールでショットトラッカーというものも同じように欠点を教えてくれます。世の中は私たちが想像のつかないスピードで動いています。若者が関係ないわと思っただけであれば、2030年にはAIに酷使される人へとなり下がるでしょう。

本当にそう思っております。車は車そのものが、大きなコンピュータデバイスに代わるわけですから、全部クラウドの方から指示がきて勝手に動いていく車ができるということは確かだと思えます。

是非犬山ロータリークラブの若い皆様の中から、よーしやったるぞ、第二の孫正義を狙うぞという人がお見えになれば、自分のアイデアだけで新しい未来を切り開いていただけるととてもうれしく思います。以上で会長挨拶を終わります。



＝青少年奉仕月間＝

青少年奉仕委員会担当卓話

(鈴木 一成委員長)

今月は青少年奉仕月間ということで卓話をお願い致しました。よろしくお願い致します。

卓 話

「ロータリーの青少年奉仕活動について」 地区青少年奉仕委員会 委員長 寺本 善雄様



今日は、「ロータリーの青少年奉仕活動」についてお話をさせていただきます。国際ロータリーの青少年奉仕関係のプログラムには、インターアクト、ロータリーアクト、RYLA、青少年交換の4つの常設プログラムがあります。

まず、ロータリーにおける青少年奉仕活動の歴史を紹介いたします。

ロータリークラブは1905年アメリカ・シカゴにてポール・ハリスにより設立され、最初は「取引上の便宜と親睦」だけを目的に始まったとのこと。しかしすぐに地域社会にも目を向け、1907年にシカゴに共同便所を作る事業を行い、これが社会奉仕のはじまりとなりました。そして青少年にも目を向けるようになり、早い段階から障害児支援などを行っていたとのこと。

1929年、米国とデンマーク・コペンハーゲンのロータリアンの子弟を相互で預かるという事業があり、これが青少年交換の始まりと言われております。

1959年、オーストラリア、クイーンランド州の自治

権獲得100周年事業にイングランドの女王が臨席され、同世代の青年たちと女王との語らいの場をもちました。この内容が素晴らしく、これを継続できないかということから始まったのがRYLAです。

1962年、「世界中の青少年が共に活動できるような組織」を作ろうということで、当時のRI会長ハロルド・トーマスの呼び掛けにより出来たのが、インターアクトクラブ(IAC)です。

1968年、IACは高校生までであり、これで終わるのはもったいないということでIACを継続するものとロータリーアクトクラブ(RAC)が出来ております。

次に、各委員会活動を見ていきます。

まず、インターアクトクラブです。

IACは当地区では高校生を対象としており、地区内では、17クラブ、580名が社会奉仕活動を行っています。5年前に比べて会員数は倍増し、新しいクラブも2校増えて、大変活躍しております。月2回のクラブ例会活動と、地区事業として「年次大会」、「オーストラリア海外派遣研修」を行っています。

次にRYLAです。

RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の目的は、「地域社会の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすこと」であります。当地区では高校生から30歳までを対象にしており、毎年3月に2日間開催され約120名が参加します。テーマは、毎年ガバナーから出され、6グループに分かれて自由討論のワークショップ形式で進め、最後にまとめの発表会があります。当地区は、高校生の参加が多いのが特徴で参加者中約80名が高校生です。

次に青少年交換です。

海外のロータリークラブとの1年間の交換留学で、8月に出発、受入、7月、8月にそれぞれ帰国します。目的は、「その国の風俗・習慣・文化を直接体験して、国際理解と親善を推進すること」です。留学生はホームステイして地元の高校に通います。1年間の留学の成果は大きなものがあり、出掛ける時は頼りない高校生がみごとに成長して帰ってきます。努力の甲斐がある、大変充実感のある事業です。

最後にロータリーアクトクラブ(RAC)です。

RACは、18歳から30歳までの青年男女を対象にしており、地区内に9クラブ、120名の会員がいます。月2回の例会活動と、地区全体の事業として「地区親睦」「国内・海外研修」「地区年次大会」などがあります。RAは、地区内だけにとどまらず国内他地区、また海外RACとの交流事業があり、広く親睦交流の中から自己研鑽できることが特徴になっています。

これらのプログラムを実施する4つの委員会は相互交流を積極的に進めており、中でも「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」には、各委員会で役割分担して清掃活動、オークション、また、飲料販売などの会場のお手伝いをして、ロータリアン、ファミリーとの交流を図っております。

貴クラブに置かれましても、ロータリー青少年奉仕活動をより良くご理解いただき、一層のご支援をお願い申し上げます。